

論述ブースト No.12

精神医療・メンタルヘルスを論じる ― 偏見・当事者の権利・社会復帰を3軸で整理する

導入文

「精神科医になりたい」という志望動機や「メンタルヘルスの重要性」という小論文テーマは医学部で増えているが、「偏見の問題」「当事者の権利」「社会復帰の支援」という3軸を持たないと、表面的な答えに終わる。精神医療固有の論点を体系化することで、深みのある論証が書ける。

講義概要

精神医療・メンタルヘルスを「スティグマ（偏見）の問題」「当事者の自律と権利」「地域での社会復帰」の3軸で体系化する。措置入院・インフォームドコンセントの難しさ・当事者主体の医療（リカバリーモデル）・地域包括ケアの概念を整理し、医学部小論文・面接で深みある論証を構築する。

授業目標：精神医療論述を「重要だ」という感想から、スティグマ・権利・社会復帰の3軸による論証へ変える。

対象者：高2～高3・浪人生。医学部・医療系の総合型選抜・推薦入試で、精神医療・メンタルヘルステーマの小論文・面接に備えたい生徒。

授業時間：授業90分＋演習・質疑応答30分

到達目標：スティグマの意味と影響を説明できる／当事者の権利と医師のジレンマを論じられる／社会復帰支援の視点を答案に組み込む

授業構成（90分）＋演習・質疑応答（30分）

授業90分：1 導入：感想で終わる答えと3軸の論証を比較 2 スティグマ軸：精神疾患への偏見の構造と影響を整理 3 権利軸：措置入院・インフォームドコンセントの難しさ 4 社会復帰軸：リカバリーモデル・地域包括ケアの概念 5 医師の役割：治療・権利擁護・啓発の3レベル 6 演習：「精神医療において患者の自律をどう守るか」を3軸で論じる 7 まとめ：「どの軸から論じるかを先に決める」習慣を固定

追加30分：「精神疾患のスティグマを減らすために医師は何をすべきか」を3軸で300字論述する演習と質疑応答を行う。

板書・スライド骨子：スティグマの定義と影響／当事者の権利と措置入院のジレンマ／リカバリーモデルの概念／3軸の論証骨子テンプレート

課題：「精神医療における当事者の自律と医師の判断のバランスをどう取るか」をスティグマ・権利・社会復帰の3軸で300字で論じる。

備考：高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。